

# 施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
4 -	観光を振興する	市長室、産業振興部、公営事業部、都市整備部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
入込観光客の数 (年間)	万人	755	375				770
市と関係団体で作 成した観光メニュ ーの件数(累計)	件	9	11				14
関連事業							
観光事業 七夕まつり開催事業 魅力ある花火大会開催事業 着地型観光推進事業 競輪場活用 推進事業 海岸エリア魅力発信事業 新港大浜アクセス道路整備事業							
決算額							
		2年度	3年度	4年度	5年度		
事業費(千円)		19,330					
執行率(%)		81.62					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>「観光資源の魅力アップと着地型観光」の推進」</p> <p>市民活動団体「ひらつか着地型観光推進委員会」と協働し、地域資源を活用した体験型プログラムを実施するとともに、これを通じた観光資源の魅力を情報発信することで、市内周遊の機会を提供し、地域経済の活性化や来訪者の増加を図りました。</p> <p>「市民協働」「市民参加型」による七夕まつりの推進と資金調達による拡充」</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、湘南ひらつか七夕まつりは中止となったものの、七夕まつりの思いを来年に繋げるために市民団体が実施したオンラインでの七夕まつりや、中心商店街の小規模な飾りの掲出などへの支援を行い、市民協働や市民参加型のまつりに向けた取組を行いました。</p> <p>「誰もが観光を楽しめる受入体制の整備」</p> <p>観光協会ホームページの多言語化や多様な地域資源を活用した観光メニューを提供することで、観光客のニーズを踏まえた受入環境づくりに取り組みました。</p>							

「様々なターゲットに対応した効果的な情報発信」

観光協会ホームページのリニューアルや湘南地区観光振興協議会や県と連携し、観光マップやSNS等を活用した観光情報を発信することで、多様な観光ニーズに対応した効果的な情報発信を行いました。

インスタグラム、定住促進ウェブサイト、写真展など様々な媒体で海岸エリアの魅力を市内外に発信しました。

「シェアサイクル事業の実証実験を踏まえた実施」

湘南地域自転車観光推進協議会や協働事業者と連携しシェアサイクル事業を拡充することで、シェアサイクルによる周遊観光の促進を図りました。

「地域に開かれたにぎわいの場としての競輪場の活用」

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、KEIRINグランプリ2020に出場する地元選手の壮行会のみ実施しました。

新港大浜アクセス道路整備事業の推進

土地利用の方向性についての検討を行うとともに、関係機関と進捗状況について情報共有を行いました。

施策を推進する上での「課題」

「観光資源の魅力アップと着地型観光」の推進

コロナ危機において、地元又は近隣への観光需要が高まっていることから、体験型観光プログラムの実施とともに地域の観光資源の魅力の情報発信しリピーターとなりうる新たな観光客を獲得することが必要です。

「市民協働」「市民参加型」による七夕まつりの推進と資金調達による拡充」

コロナ危機における協賛金の減少を始めとする様々な課題や開催場所周辺の居住環境の変化等を踏まえ、今後も持続可能な七夕まつりの開催を目指す必要があります。

課題解決を図るための「取組方針」

「観光資源の魅力アップと着地型観光」の推進

地域経済の活性化や市内周遊の機会を提供し来訪者増加を図るため、平塚ならではの文化、歴史、産業などを新たな地域資源として位置づけ、地域の独自性を活かした着地型観光をすすめます。

「市民協働」「市民参加型」による七夕まつりの推進と資金調達による拡充」

コロナ危機に対応した安心・安全な開催と経済的かつ効率的な開催を行うため、各団体等と役割分担を行い、運営への市民参画を浸透させ、市民による七夕まつりの開催を目指します。

「誰もが観光を楽しめる受入体制の整備」  
コロナ危機においてもストレスなく観光を楽しむ環境や多様化する観光客のニーズに対応することが必要です。

「様々なターゲットに対応した効果的な情報発信」

多様な観光客のニーズに合わせた観光情報を発信する必要があります。

市が費用負担をしなくてもテレビ番組や雑誌などの各種メディアが自発的に本市の海岸エリアの魅力を取り上げていただく状況を目指していく必要があります。

「シェアサイクル事業の実証実験を踏まえた実施」

コロナ危機における移動手段としてのシェアサイクルの需要に対応する必要があります。

「地域に開かれたにぎわいの場としての競輪場の活用」

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮しつつ、より多くの幅広い世代の方々が競輪場に訪れ、親しみを持っていただく必要があります。

新港大浜アクセス道路整備事業の推進

土地所有者（国）、財産管理者（県）と協議するとともに、交通管理者（神奈川県警）と交通協議を進めるに当たり、道路設計や交差点設計等が必要ですが、現状に即したものがありません。

「誰もが観光を楽しめる受入体制の整備」  
観光需要の変化に対応し、マイクロツーリズムなどの近隣観光の推進や地域の観光資源を活用した魅力的な観光プログラムづくりや受入体制を整えます。

「様々なターゲットに対応した効果的な情報発信」

市や観光協会ホームページ、他団体のSNSを活用し、最新の観光情報や平塚の魅力ある観光資源を定期的に情報発信します。様々な媒体を駆使して、海岸エリアの魅力を発信していきます。

「シェアサイクル事業の実証実験を踏まえた実施」

湘南地区自転車観光推進協議会と協働事業者と連携し、シェアサイクル事業を拡充し、シェアサイクルによる市内周遊や広域観光を促進します。

「地域に開かれたにぎわいの場としての競輪場の活用」

競輪開催に合わせて、来場のきっかけとするため、集客力のあるイベント等を実施します。また、非開催中における庁内外の関係課・関係団体などへの競輪場を活用したイベント等の実施を促します。

新港大浜アクセス道路整備事業の推進

関係機関との協議を進めるため、道路設計や交差点設計等を行なうとともに、土地利用の方向性を検討します。